

## 自殺者ゼロのまちづくりの実現に向けて

### ■自殺予防対策事業

【衛生費】(拡充) 147万円  
(保健福祉部 健康推進課)

自殺予防対策の強化策として、多くのかたに相談できる機会を提供するため、京都市内で電話相談を実施されている京都府精神保健福祉総合センターの「こころの相談電話」と社会福祉法人「京都いのちの電話」への相談電話にフリーアクセスできるようにします。

※京丹後市内から、固定電話・携帯電話で下記の番号に掛けていただければ無料で利用することができます。

#### フリーアクセス接続イメージ



悩んだときはすぐに相談

#### 相談窓口

- ◇「こころの相談電話」  
(京都府精神保健福祉総合センター)  
☎0120-689-874(はなし)  
月曜日～金曜日 9時～12時・13時～16時
- ◇社会福祉法人「京都いのちの電話」  
☎0120-689-107(いのち)365日・24時間

## 5 共に生きる障害者福祉の充実

### 障害のあるかたのご家族の

#### 日常生活を支えます

■障害者共同生活援助施設(グループホーム)設置補助金  
【民生費】(継続) 100万円  
(保健福祉部 障害者福祉課)

障害のあるかたが、住み慣れた地域で自立した生活を送ることのできる障害者グループホームの整備を推進するため、社会福祉法人が共同生活援助施設(グループホームなど)を整備した場合に1件100万円を限度に対象経費の2分の1を助成します。



民家を改修した丸山ホーム  
(久美浜町)

### ■障害者自立支援医療給付費

【民生費】(継続) 2,997万円  
(保健福祉部 障害者福祉課)

身体障害者手帳を所持するかたが、障害を除去または軽減するために、都道府県が指定する医療機関で手術や血液透析を受けた場合に医療費を公費で負担する制度です。利用者負担は、原則1割ですが、本市と京都府とが一緒に利用者負担の上限額を設定し、利用者のかたの負担軽減を行っています。対象となるのは、心臓や関節の手術、血液透析などの医療費です。



血液透析  
血液中の老廃物をろ過する

### ■障害者地域生活支援事業

【民生費】(継続) 1億3,227万円  
(保健福祉部 障害者福祉課)

障害のあるかたが、住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、利用者のかたの状況に応じたさまざまな事業を実施します。

障害のあるかたなどからの相談を受け、必要な情報の提供や助言を行う「相談支援事業」、聴覚障害のあるかたの情報取得やコミュニケーションなどを支援するため手話通訳者を設置する「コミュニケーション支援事業」、1人では外出が困難な障害のあるかたの外出を支援する「移動支援事業」など20種類の事業を実施します。



創作活動などを行い  
社会との交流を図る

### ■障害者就労支援事業

【民生費】(継続) 606万円  
(保健福祉部 障害者福祉課)

働く意欲と能力がありながら雇用や就労に結びつかない障害のあるかたに対して、障害者就労支援相談員を配置し、求職活動、定着支援、企業訪問などを社会福祉法人への事業委託により実施します。また、障害のあるかたが、職場を体験する機会を増やし、就労の知識や能力の増進を図るため、市役所で知的障害者職場実習を実施するほか、一般企業などで職場実習した場合には、企業等に奨励金を支給します。



市役所での職場実習

### ■障害福祉サービス経費

【民生費】(継続) 9億4,692万円  
(保健福祉部 障害者福祉課)

障害者自立支援法に基づいて、障害のあるかたが自立した生活を送ることができるように、障害福祉サービスの提供や給付、支援を行います。障害保健福祉施策は、身体障害・知的障害・精神障害といった障害種別ごとに縦割りでサービスの提供がされていましたが、平成18年4月、障害者自立支援法がスタートしたことで、サービスを利用するための仕組みが一元化され、障害のあるかたの生活や自立を支える事業内容や施設の利用がかわっています。



増改築工事が完了した  
峰山共同作業所

### ■オストメイト対応トイレ改修経費

【農林水産業費】(新規) 80万円  
(保健福祉部 障害者福祉課)

アグリセンター大宮の身体障害者対応トイレを改修し、市内の公共施設では初めてとなるオストメイト対応のトイレを設置します。



オストメイト対応トイレを  
設置するアグリセンター大宮

#### オストメイト

直腸や膀胱(ぼうこう)の手術によって、人工肛門や人工膀胱となられたかたのことです。

## 6 安心して暮らせる高齢者福祉の充実

### 高齢者などの生活を支えます

#### ■高齢者安心生活支援経費

【民生費】(新規) 194万円  
(保健福祉部 高齢者福祉課)

交通の利便も悪く、医療機関からも遠いなど診療機会に恵まれない無医地区をはじめ、辺地、過疎地域およびそのほか特に支援が必要と認められる地域の高齢者のかたを対象に、健康で自立した生活を送っていただくため、保健師など

による血圧測定、問診などによる健康チェックや生活機能チェックなど訪問指導の充実を図ります。



無医地区などの  
高齢者のかたを支えます

### ■福祉有償運送事業費補助金

【民生費】(継続) 1,728万円  
(保健福祉部 高齢者福祉課)

おおむね65歳以上の介護認定を受けたかたや障害のあるかたで、心身の状況により一人で公共交通機関の利用が困難なかたを対象に、京丹後市社会福祉協議会が医療機関や公共施設への移動を支援するサービスです。

このサービスが、円滑に実施できるよう補助金を交付します。



福祉有償運送事業を利用した通院

## (仮称)健康長寿のさとづくり全国交流会を秋に開催

### ■健康長寿のさとづくりの推進経費

【衛生費】(継続) 72万円  
(保健福祉部 高齢者福祉課)

地域に暮らす住民のみなさんが、安心して生きがいを持ちながら暮らすことのできる健康長寿のさとづくりを推進するため、健康長寿のさとづくりの取り組みを進めている全国の市町村および本市と同様に百寿者の割合が高い市町村との交流を深め、ともに学び、ともに連携し、それぞれの地域において支え合い助けあう健康長寿のさとづくりをめざします。



健康長寿のさとづくり  
推進事業活動発表会

◇百寿者(百歳以上の長寿者)の割合(人口10万人対比)平成19年9月現在

・京丹後市	84.7人	(実人員 54人)
・京都府平均	40.9人	(実人員 1,070人)
・全国平均	25.3人	(実人員 32,295人)